

Istanbul Weekly vol.4-no.27

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2015年7月15日（水）

— 今週のポイント —

- 政治：**ダーヴトオール首相、野党との連立交渉を開始。
経済：トルコの医療ツーリズム訪問客数、4年間で5倍に。
 トヨタのトルコ子会社、上半期輸出 30%減。
治安：PKK が活発化、各地で攻撃。ダム攻撃も警告。
 トルコ治安当局、ISIL 関係者を多数拘束。
軍事：トルコ軍事産業が、サウジとの取引に署名。
社会：バイラム期間中の公共交通機関の運賃半額。

政治

【内政】

- ダーヴトオール首相、CHP との連立交渉を開始**
 13日、ダーヴトオール首相（AKP 党首）は、CHP 党本部において、クルチダルオール CHP 党首を表敬訪問し、同党との連立交渉を開始した。1時間40分にわたって行われた会談では、外交・経済問題を中心に話し合われた模様で、「会談は誠実で友好的な雰囲気の中で行われた」として、引き続き他党と並行して、同党との協議を継続していく考えを示した。CHP も党内での検討を進める。（7月14日付 M 紙 1面）
- ダーヴトオール首相、MHP との連立交渉を開始**
 14日、ダーヴトオール首相は、国会内でバフチェリ MHP 党首と会談し、同党との連立交渉を開始した。約1時間45分にわたって行われた会談後、バフチェリ党首は、「先ずは、AKP が CHP 或いは HDP との間での連立を提案する。」として自党抜きの連立に言及しつつ「これらが成立しない場合は、党として必要なことを行う」等述べた。また、クルド和平プロセスについても、AKP との間で見解が食い違った。（7月15日付 C 紙 4面）
- 憲法裁判所、学習塾の閉鎖を定める法律を無効と判決**
 13日、本年9月1日より学習塾を私立学校に転用するか、それが出来ない塾は閉鎖するとの法律に関し、憲法裁判所は、憲法の定める教育を受ける権利等との関係で、同法律を無効とする判決を下した。同法は、AKP が学習塾を通じて若年層への影響力を強めるギュレン派對策として講じたものと見られていた。（7月14日付 M 紙 1面）
- 【外交】
- ダーヴトオール首相、ボスニア・ヘルツェゴビナを訪問**
 11日、ダーヴトオール首相は、ボスニア・ヘルツェゴビナを訪問し、1995年7月の同国紛争中、スレブレニツァ市で多くの住民が殺害された事件の被害者を追悼するための式典に参加し、同事件を強く批判するとともに、同国の国民との連帯を強調した。ダーヴトオール首相は、大統領評議会のバキル・イゼトベゴビッチ議員らとも会談した。（7

月11日付 M 紙インターネット版)

●**イラン核問題の EU3+3 とイランの合意に関するダーヴトオール首相発言**

14日、イラン核問題の EU3+3 とイランの合意に関し、ダーヴトオール首相は記者団に対し、「我々にとっても喜ばしい。地域における今後の他の兵器撤廃に繋がる。」と述べた。（7月15日付）

経済

【マクロ経済】

●**トルコの経済脆弱性に関する考察**

投資家の目から見れば、トルコと他の地中海の EU 諸国は脆弱な国に分類されるが、地中海の EU 諸国の弱さは財政が原因となっており、現在のトルコの経済的な脆弱性は民間部門に起因する。トルコの対外債務残高は国民所得（GNI）の約半分に相当する4000億ドル、負債の40%は短期債務であり、外国の資源と負債への依存から脱却することが困難となっている状況が民間の投資を妨げている。（7月13日付 HD 紙 10面）

●**トルコの医療ツーリズム訪問客数、4年間で5倍に**

医療ツーリズムの為にトルコを訪問する外国人は、2010年の10万9千人から2014年は58万3千人に増加。主に、リビア、イラク、ドイツからの訪問客増加が貢献した。世界では年間3000万人が手術のため海外へ渡航しており、観光部門平均の6倍に相当する1500億ドルを支出している。トルコの保健省は、外国人患者のための免税ヘルスケアゾーンの活用により、2023年までに医療ツーリズムの訪問客数を200万人まで増やす計画。（7月14日付 HD 紙 10面）

●**今年のトルコの自動車部門、輸出等最高記録を予想＝トルコ自動車工業会**

ウネン・トルコ自動車工業会（OSD）会長によると、今年のトルコの自動車部門の輸出、国内市場売上高及び生産量については、ヨーロッパ市場の回復とインセンティブ制度により最高を記録することが予想され、今年の輸出及び生産量は対前年比約5%増加する見込み。（7月14日付 HD 紙 11面）

【企業等の動き】

●トヨタのトルコ子会社、上半期輸出 30%減

トヨタのトルコ子会社は上半期の輸出が 30%減少したことを明らかにした。ルーブル安によるロシア向け輸出低迷によるもの。同社が生産するカローラのうち 25%をロシアで販売する予定だったが、10%に満たなかった。同社は、2015 年の販売台数が 9%減少すると予測し、ロシアでの不振を、トルコ、ポーランド、英国、イスラエルでの販売増で埋め合わせると述べた。(7月10日 HD 紙 11 面)

治安

●トルコ警察、44 万ユーロをイタリアのハッカーグループに支払う

デイリーヒュリエットが入手した文書によれば、2011 年から 2015 年にかけて、トルコ警察は、特定の個人を対象にしたスパイウェア作成のために、イタリアのハッカーグループに 44 万ユーロを支払っていた。このハッカーグループは、世界中の多くの政府や警備会社にインターネット上から情報を盗み取るスパイウェアソフトなどを販売していたという。トルコ警察は、対象コンピューターのキーボード操作記録やすべての記録情報、パスワード等を秘密裏に抜き取るソフトフェア等を複数回にわたり発注していた。(7月10日付 HD 紙 2 面)

●タイがウイグル難民強制送還。在イスタンブール・タイ名誉総領事館襲撃される

タイ政府が、中国から逃れてきたウイグル難民 100 名以上を中国に強制送還したことに憤慨した愛国主義者グループが、イスタンブール市内ガイレテペにあるタイ国名誉総領事館を集団で襲撃、ガラスを割り室内に侵入し、書類を路上にまき散らすなどした。現場に到着した警察が現場で 7 名を拘束した。

翌日、タイは、アンカラにある大使館とイスタンブールの名誉総領事館をしばらくの間閉鎖することを発表。



(顔にフードを被され、多数の警官に監視されながら中国へ強制送還される機内のウイグル難民：中国 CCTV より)

●200 人以上の米国人がシリアに向かっている

米国 FBI 長官は、200 人以上の米国人が ISIL に参加するためにシリアに向かっていると発表。米国を攻撃しようとする「ホームグロウンテロリスト」の増加が大きな懸念事項であるとも述べた。また、捜査機関が暗号化された通信を監視することがこれら脅威への対抗には必要だと訴えた。(7月10日 HD 紙 9 面)

●PKK が活発化、各地で攻撃。ダム攻撃も警告

・7月10日アール県で PKK が車両 3 台に放火。(7月13日 M 紙 10 面)

・7月11日 PKK は、政府が停戦を破り、軍事拠点や兵員輸送用道路や軍事利用のためのダムを開発するなど挑発を行っているとして、アルダハン県に所在するダムを攻撃すると警告した。PKK は、トルコ政府が停戦状態を利用して、拠点や道路を整備し、政府に有利な軍事的環境を構築しよ

うとしていると非難。また 12 日、アルダハン県では、県職員の車両を妨害しようとした PKK と軍の間で衝突が発生し、1 名が死亡した。(7月13日付 HD 紙 9 面)

・7月13日マルディン県で、PKK の青年組織 YDG-H のメンバーが道路を封鎖してデモを行い、警官隊と衝突し、警官 1 名が負傷。(7月14日付 C 紙 12 面)

●トルコ治安当局、ISIL 関係者を多数拘束

・7月10日、イスタンブール等多数の県で、当局による一斉捜索が行われ、ISIL のリクルーター等 21 名が拘束された。また、7月12日ガー吉安テブ県でトルコ治安部隊は、主にタジキスタン人からなる 25 名のシリアに渡航しようとした外国人を拘束。(7月13日付 HD 紙 9 面)

・7月13日、コンヤ県において、警察が ISIL 関係箇所への一斉捜索を実施し、9 名の ISIL リクルーターおよび支持者等が拘束され、複数の散弾銃、爆弾容器などが押収された。拘束された者達は、戦闘員の募集を行ったり、ISIL のシリアでの戦いのロジスティック支援(後方支援)を実施していたという。(7月15日付 HD 紙 2 面)

軍事

●トルコ軍事産業が、サウジアラビアとの取引に署名

7月10日、トルコの大手軍事兵器会社アセルサンは、二つのサウジアラビアの軍事兵器会社と、兵器開発等での協力を定めた 3 者間の協定を締結。締結に当たってサウジのアル・サウド王子は、「両国の戦略的パートナーシップの始まりとして、この合意は重要である」旨述べた。(7月13日 HD 紙 11 面)

社会

●4 組中 3 組が結婚式のための借金

イングバンクがヨーロッパの 13 カ国で 1 万 3000 人に行ったアンケート調査によると、最近 5 年以内に結婚した夫婦の 33%が、結婚式のために借金したと答えた。借金した夫婦の割合はトルコが一番多く 76%、二番目はイタリアとルーマニアの 31%、最も割合が低い国はオランダの 5%であった。また、トルコでは夫婦が思い描いた結婚式が資金不足により実現できない傾向にあり、10 組の内 7 組の夫婦が、家族や友人からのプレッシャーが結婚式に影響を与えていると回答した。(7月10日付 HT 紙 10 面)

●タクシム広場とゲジ公園が歩道でつながる

イスタンブール大市による、「タクシム広場整備計画」の工事が最終段階に入っており、タクシム広場とゲジ公園を繋ぐ歩道の工事が始まった。昼夜問わず進められている工事によって、タクシム広場のターリムハーネロとゲジ公園側の歩道が整備される。工事を見守る市民の一人は、「以前広場にはなにもなかったが、ゲジ公園とタクシム広場が繋がれば、より美しい景観になり、市民の憩いの場となる。」と語った。(7月10日付 HT 紙 10 面)



(写真は 7 月 13 日付 HT 紙インターネット版から)

●バイラム期間中の公共交通機関の運賃半額

イスタンブール大市議会は、ラマザン明けのバイラム期間中、公共交通機関の運賃を半額とすると決定した。これによって、バイラム期間中、市バス、メトロバス、メトロ、トラムヴァイ、タクシムーカバタシュ線フニキュレル、市営連絡船等の公共交通機関の運賃が半額となる予定。(7月14日付 HT紙23面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İŞİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

※掲載内容は、トルコの新聞報道をまとめたものです。

イスタンブール日本国総領事館

 電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

 WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

 Facebook：<http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

●トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。

●新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp
【イスタンブール県及び近郊県内邦人被害統計】

イスタンブール邦人被害統計								
2014.1.1～2015.7.15 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー(相談)		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2014年		2件		4件		33件		5件
2015年	0件	4件	0件	2件	1件	9件	0件	2件

●今週は、ぼったくりバーの被害の訴えが1件ありました。

概要：シルケジ駅付近でライターをもっていないかと話かけられた自称キプロス出身の男性から、ビールを一杯のみに行こうと誘われ、連れて行かれた店がぼったくりバーだった。7600リラ請求され、ATMまで連れて行かれ、3500リラと手持ちの1万円を取られた。

★当館HP更新のお知らせ★

 ●[2015年秋の文化行事のお知らせ\(9月17～21日：「鬼太鼓座」和太鼓コンサート/9月20日：「祭2015」バルタリマヌ](#)
[日本庭園秋祭り/10月8～26日：久保修「紙のジャポニスム 切り絵展」](#)

 ●[治安速報：イスタンブール\(07/09\)](#)

 ●[海外安全対策情報\(2015年4月～6月\)\(07/07\)](#)